

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	:	クラレポバール®
銘柄名	:	7-92, 10-95, 17-94NA, 27-95, 27-96, 55-95
供給者の会社名称	:	株式会社クラレ
住所	:	100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-4 常盤橋タワー
担当部門	:	ポバール樹脂事業部
電話番号	:	03-6701-1450
FAX 番号	:	03-6701-1460
E-mail	:	弊社ホームページよりお問い合わせ下さい http://www.poval.jp/form/poval_j.html
緊急連絡電話番号	:	ポバール樹脂事業部 03-6701-1450
(休日・夜間)	:	ポバール樹脂事業部 03-6701-1450

2. 危険有害性の要約*

GHS 分類

物理化学的危険性	:	分類できない
健康有害性	:	分類できない
環境有害性	:	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示	:	なし
注意喚起語	:	なし
危険有害性情報	:	該当しない
注意書き	:	該当しない

他の危険有害性

有機粉塵がメタノールを少量含有しており、粉塵を多量に吸入したり、飲み込むと臓器の障害を引き起こす可能性がある。

粉塵を発生させると粉塵爆発の危険性を有する。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

*欧州 CLP 規則(EU1278/2008)に基づく

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	混合物
一般名	:	Polyvinylalcohol
別名	:	Ethenol homopolymer, Vinyl alcohol polymer, POLYVINYL ALCOHOL, Polyethenol, Poly(vinyl alcohol)

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号	CAS 番号
ポリビニルアルコール	≥94	(6)-682	25213-24-5
メタノール*	<3	(2)-201	67-56-1
酢酸メチル	<1	(2)-725	79-20-9

*化学物質審査規制法 優先評価物質

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪い場合は、医師の診察を受ける。(可能な場合はラベルを見せる)。医療スタッフが関係する資料を理解し、自分自身を保護するための予防措置を講じることを確認する。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 粉末の状態又は水溶液の状態が付着した場合、大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

急性症状の最も重要な徴候症状

有機粉じんでメタノールを少量含有しており、粉じんを多量に吸入したり、飲み込むと臓器の障害を引き起こす恐れがある。

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。
- 特有の危険有害性 : 爆発の危険から生じる特定の危険:粉塵の発生を避けること。粉塵が空気中に十分な濃度で分散し、発火源が存在する場合、粉塵爆発の危険性がある。火災時には、健康に有害なガスが発生する可能性がある。
- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
水使用時は着火した樹脂が飛散しないように、噴霧水で消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺の設備等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- 消火時の保護具 : 消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 一般的措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
風下で作業しないこと。着火した場合に備えて消火用器材を準備すること。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 製品の環境中への流出を避ける。
風による飛散に注意する。
大量の水で希釈する場合、汚染された排水が適切に処理されず環境に流出しないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

-
- 封じ込め方法 : 飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発
じんしないようにして、空容器等に回収する。
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙禁止、火花や火炎の
ないこと）。
静電気放電に対する予防措置を講じること。
火花を出さない器具のみ使用すること。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 微粉を含んでおり、溶解槽への仕込み時に粉じんが立つ可能性があるた
め、「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて
保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 大量に扱う場合には集じん装置を設置すること。
局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱うこと。
みだりに粉じんを発生させないようにする。
風による飛散に注意すること。
静電気火花を着火源として、粉じん爆発を起こす危険性があるので、確
実に接地を行い、導電性材料を用いる等の対策が必要である。

保管

- 技術的対策 : 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及
び換気の設備を設ける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 混触禁止物質 : 酸化剤、還元剤等
- 保管条件 : 変質（変形）を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて常温
で保管する。
火災防止のため、火気、発火源、熱源、高温を避け、室温で保管する。
3,000kg以上の保管は消防法・指定可燃物としての規制を受ける。
- 安全な容器包装材料 : 帯電防止材料の容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : $E = 3.0 \text{ mg/m}^3$
- 許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）
- ACGIH TLV-TWA (2021) : 3 mg/m^3 （その他の不溶性のレスピラブル粒子）
 10 mg/m^3 （その他の不溶性のインハラブル粒子）

ACGIH TLV-STEL (2021)	: 設定されていない
日本産業衛生学会 (2020)	: 2 mg/m ³ (第3種粉塵 (吸入性粉塵)) 8 mg/m ³ (第3種粉塵 (総粉塵))

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具	: 粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	: 手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼及び/又は顔面の保護具	: 眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

特別な注意事項

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 顆粒状または粉末
色	: 白色 もしくは淡黄色
臭い	: わずかな酢酸臭
融点/凝固点	: 150 - 230 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発限界および爆発上限界/可燃限界	: 該当しない
引火点	: > 70°C セタ密閉式
自然発火点	: 該当しない
分解温度	: >160°C
pH	: 4-7(4%水溶液)
動粘性率	: 該当しない
溶解度	: 水: 易溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 相対密度: 1.19-1.31g/cm ³

相対ガス密度 : 該当しない
 粒子特性 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の取り扱い条件下では安定である。
 化学的安定性 : 通常の取り扱い条件下では安定である。
 危険有害反応可能性 : 通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
 避けるべき条件 : 火気、発火源、熱源、高温、多湿
 混触危険物質 : 酸化剤、還元剤等
 危険有害な分解生成物 : 火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報*

ポリビニルアルコール	
急性毒性（経口）	本製品を 2,000 mg/kg で投与した第 1 及び第 2 ステップともすべての動物に死亡又は瀕死は発生しなかったことから、メタノール含有量 1%以上、3%未満の本製品の経口投与によるラットに対する急性毒性の危険有害性区分は、「区分に該当しない」となる（OECD TG 423）。**
急性毒性（経皮）	本製品を 2,000 mg/kg で適用した用量設定試験及び本試験において、すべての動物に死亡又は瀕死は発生しなかったことから、メタノール含有量 1%以上、3%未満の本製品の経皮投与によるラットに対する急性毒性の危険有害性区分は、「区分に該当しない」となる（OECD TG 402）。**
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん/ミスト）	情報なし

皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 情報なし
 呼吸器感作性 : 情報なし
 皮膚感作性 : 情報なし
 生殖細胞変異原性 : 情報なし
 発がん性 : 情報なし
 生殖毒性 : 情報なし
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 一般状態観察で認められた軟便は、GHS の特定標的臓器（単回ばく露）への分類を支持する重大な毒性には該当しないと考えられることから、メタノール含有量 1%以上、3%未満の本製品は、区分に該当しない（OECD TG 423）。**

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 情報なし
誤えん有害性 : 情報なし

メタノール (67-56-1)	
LD50 経口 ラット	6200 mg/kg
LD50 経口	1400 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	15840 mg/kg
LC50 吸入 - ラット [ppm]	22500 ppm (Exposure time: 8 h)

急性毒性 (経口) : 飲み込むと有毒
急性毒性 (経皮) : 皮膚に接触すると有毒
急性毒性 (吸入) : 吸入すると有毒
皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 情報なし
呼吸器感受性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 情報なし
誤えん有害性 : 情報なし

酢酸メチル (79-20-9)	
LD50 経口 ラット	> 5 g/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 5 g/kg
LC50 吸入 - ラット	> 49000 mg/m ³ (Exposure time: 4 h)

急性毒性 (経口) : 情報なし
急性毒性 (経皮) : 情報なし
急性毒性 (吸入) : 情報なし
皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 強い眼刺激性
呼吸器感受性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 情報なし
 誤えん有害性 : 情報なし

*欧州 CLP 規則(EU1278/2008)、日本ケミカルデータベース株式会社 LOLI データベースより

**酢ビポバール工業会資料

Fully Hydrolyzed PVOH MEOH>3%のラットにおける急性経口投与毒性試験

Partially Hydrolyzed PVOH MEOH>3%のラットにおける急性経口投与毒性試験

Fully Hydrolyzed PVOH MEOH>3%のラットにおける急性経皮投与毒性試験

Partially Hydrolyzed PVOH MEOH>3%のラットにおける急性経皮投与毒性試験

12. 環境影響情報*

ポリビニルアルコール

生態毒性 : 情報なし
 残留性・分解性 : 情報なし
 生体蓄積性 : 情報なし
 土壤中の移動性 : 情報なし
 オゾン層への有害性 : 該当しない

メタノール (67-56-1)

水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ブルーギル) での 96 時間 LC50 = 15400mg/L (EHC 196, 1998)、甲殻類 (ブラウンシュリンプ) での 96 時間 LC50 = 1340mg/L (EHC 196, 1998) であることから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急性毒性区分外であり、難水溶性ではない (水溶解度=1000000mg/L (PHYSPROP Database、2009)) ことから、区分外とした。
LC50 - 魚	28200 mg/l (Exposure time: 96 h - Species: Pimephales promelas [flow-through])
LC50 - 魚	> 100 mg/l (Exposure time: 96 h - Species: Pimephales promelas [static])
EC50 - 甲殻類	1340 mg/l
BCF - 魚	< 10
n-オクタノール/水分配係数 (n-オクタノール/水分配係数)	-0.77

生態毒性 : 情報なし
 残留性・分解性 : 情報なし
 生体蓄積性 : 情報なし
 土壤中の移動性 : 情報なし
 オゾン層への有害性 : 該当しない

酢酸メチル (79-20-9)

水生環境有害性 短期（急性）	藻類（緑藻）の72時間EC50>120mg/L（EU-RAR、2003）から、区分外とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	難水溶性でなく（水溶解度=2.43×105mg/L（PHYSPROP Database、2005））、急性毒性が低いことから、区分外とした。
LC50 - 魚	250 - 350 mg/l (Exposure time: 96 h - Species: Brachydanio rerio [static])
EC50 - 甲殻類	1026.7 mg/l (Exposure time: 48 h - Species: Daphnia magna)
EC50 72h - 藻類	> 120 mg/l (Species: Desmodesmus subspicatus)
n-オクタノール/水分配係数 (n-オクタノール/水分配係数)	0.18

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 該当しない

*日本ケミカルデータベース株式会社 LOLI データベースより

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

国連番号	: 該当しない
品名（国連輸送名）	: 該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

海上輸送（IMOの規定に従う）

国連番号	: 該当しない
------	---------

品名（国連輸送名）	: 該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質（該当・非該当）	: 非該当

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

国連番号	: 該当しない
品名（国連輸送名）	: 該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	: 該当しない
副次危険性	: 該当しない
容器等級	: 該当しない

国内輸送

陸上規制情報	: 消防法に従う。
海上規制情報	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
雨水が掛からないように輸送する。

15. 適用法令

国内法令

化学物質審査規制法	: 優先評価化学物質（メタノール）
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働基準法	: 疾病化学物質（メチルアルコール、酢酸メチル）
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(メタノール:0.3重量%以上) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(メタノール:0.1重量%以上)
消防法	: 指定可燃物（可燃性固体類、指定数量：3,000 kg）
毒物劇物取締法	: 該当しない
大気汚染防止法	: 揮発性有機化合物（揮発性有機化合物）（排気） 特定物質（メタノール）（排気）
水道法	: 有害物質、水質基準（ナトリウム及びその化合物）
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y類物質）（メチルアルコール） 有害液体物質（Z類物質）（酢酸メチル）
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項

その他の規制情報

- : 収載あり—AICS (オーストラリア)
- 収載あり—DSL (カナダ)
- 収載あり—IECSC (中国)
- 収載あり—ENCS、ISHL (日本)
- 収載あり—KECL/KECI (韓国)
- 収載あり—NZIoC (ニュージーランド)
- 収載あり—PICCS (フィリピン)
- 収載あり—TSCA (米国)
- 収載なし—EINECS/ELINCS (欧州)
- 収載あり—TCSI (台湾)

16. その他の情報

- 参考文献
- : 日本産業衛生学会 (2020) 許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2021) TLVs and BEIs.

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。